

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3・4年次用）教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科：芸術

科目：音楽Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第3・4学年

教科担当者：長屋 富美

使用教科書：「MOUSA 2」（教育出版）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】音楽の構造や、音楽の特性に応じた要素や表現上の効果について理解し、表現できる。

【思考力、判断力、表現力等】楽曲作成の背景等を理解し、音楽を形作っている特徴を生かした音楽表現を工夫し、意図をもって表現している。

【学びに向かう力、人間性等】積極的・協同的に演奏や鑑賞、創作等の学習活動に取り組んでいる。

科目 音楽Ⅱ

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・音楽の構造や特性と表現上の効果について理解して表現しようとしている。 ・楽曲の特性を生かした演奏表現をするために必要な知識・技能を身につけ、表現している。	・音楽の特色を理解し、それらの働きを感受しながら、理解したことと感受したこととの関りについて考えるとともに、どのように表現するかについての意図をもって表現している。	・楽曲の内容について関心を持ち、積極的協同的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			歌	器	創						
1 学 期	ポップスの特徴を理解して歌おう 【知識及び技能】 歌詞の内容について理解し、ふさわしい発声や発音で演奏表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲を構成している要素を理解し、それらの関わりについて考え、工夫して演奏表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語の抑揚、アクセントや流れについての表現を工夫し、主体的に演奏活動に取り組もうとしている。	「SUN」 「歩いて帰ろう」 「ハナミズキ」	○			【知識・技能】 ポップスの特性を理解し、曲にふさわしい発声、発音、体の使い方を身につけようとしている。 【思考・判断・表現】 楽曲を構成する要素を理解し、その働きとの関わりを考えながら演奏表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 楽曲の特性を感じ取り、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。		○	○	○	7
	アンサンブルを楽しもう 【知識及び技能】 音色や奏法との関り、リズムによって生み出される効果を理解し表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 表現上の効果を理解し、他者との調和を意識してアンサンブルに参加できる。 【学びに向かう力、人間性等】 個性豊かに絵創意工夫して演奏表現できる。	・ソルフェージュ（リズム） ・PreludeⅢ ・シンコペーティッド・クロック		○		【知識及び技能】 音色、奏、リズム等を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アンサンブルについて理解し、演奏表現に生かすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 リズムやハーモニーに興味をもって積極的に理解しようとしている。		○	○	○	9
	音楽を形作っている要素に注目して、楽曲の美しさを探ろう 【知識】 楽曲について、その内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲を形作っているもの、構成について理解し、その良さを味わおうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	・「音楽を織りなす様々な要素」 ・「西洋音楽の流れ」 ・「四季」から「冬」 ・「プエノスアイレスの冬」			○	【知識・技能】 音楽を構成する要素について理解している。 【思考・判断・表現】 楽曲の特徴や構成を理解し、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 演奏表現上の効果に興味を持ち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。		○	○	○	9
	さまざまな記号を学習し楽譜の内容を理解しよう。 【知識】 記譜についての記号を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楽譜を読み、表現に生かすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 記号を理解し、楽譜の表現について、主体的に学習活動を行っている。	・楽典「記号と演奏表現」 「日本音名とドイツ音名」		○	○	【知識・技能】 さまざまな記号について理解している。日本音名とドイツ音名について理解している。 【思考・判断・表現】 楽譜中の記号を理解し、演奏表現できる。楽譜中の日本音名とドイツ音名を書いて表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に、楽譜について理解しようとする取り組みをしている。		○	○	○	5

